

休日はのんびりと

まちを歩こう!

9-10月

このコーナーでは、筑波銀行エリアの季節のイベントや
おすすめスポットなどを紹介します。

第52回 よかっぺまつり

日立市

日立市多賀地区で行われる市民の祭典「よかっぺまつり」は、開催を通じて市民間の親交を図る一大イベントとして50年以上続いています。

市民の自由な発想のもと、参加する団体や個人、ボランティアスタッフにより運営される市民参加型のお祭りです。大人も子どもも関係なく市民で楽しみながら、よかっぺまつりを盛り上げていきます。

開催日:2025年9月13日(土)11:00~19:00
会場:常陸多賀駅前「よかっぺ通り」他

大洗海上花火大会2025 ~千櫓祭~

大洗町

大洗町の誕生70周年記念として、過去最多となる18,000発の花火が打ち上がります。手がけるのは日本一の花火師である「野村花火工業」。胸に響く大輪の花火を、ぜひ会場でお楽しみください。また、日本が誇る航空自衛隊アクロバットチーム「ブルーインパルス」が大洗の空を鮮やかに彩ります。そして、会場にはいくつもの櫓(やぐら)が立ち並び、幻想的な提灯の灯りが空間を彩ります。

開催日:2025年9月27日(土)12:00~21:00(花火18:00~)
会場:大洗サンビーチ

第47回 水郷潮来花火大会

潮来市

スターメインやフラワーガーデンなど約2,000発の花火が水郷の夜空を彩ります。会場の水郷北斎公園からは、水上から上がる花火を間近で楽しむことができ、水面に映える水中スターメインは必見です!

会場には地元のお店も含め、たくさんの屋台が並び、打ち上げられる花火を眺めながら、夜店グルメも楽しむことができます。

開催日:2025年10月18日(土)15:30~19:30(花火18:30~)
会場:水郷北斎公園

石岡のおまつり

石岡市

敬老の日を最終日とする3日間で行われる関東三大祭りの一つで、正式には「常陸國總社宮例大祭」といい、創建千年を誇る古社・常陸國總社宮の最も重要なおまつりです。地域を挙げて祝われることから市民に「石岡のおまつり」として親しまれており、大神輿や豪華な山車、幌獅子など各町内から40数台が町の中心部を巡行し、石岡が1年で最も熱くなります。

開催日:2025年9月13日(土)~9月15日(月・祝)
会場:石岡駅西口から常陸國總社宮の周辺地域

第73回 小山の花火

小山市

おやまサマーフェスティバルの一環として、例年7月最終日曜日に開催されていましたが、今年は9月に変更となりました。市役所西側の観見橋下流思川河畔で「思川河畔に咲く 幻想の花」をテーマに行われます。スターメインを中心に尺玉の連続打ち上げや、ワイドスターメイン、ナイアガラ瀑布など、小山市の秋の夜空を色とりどりの大輪の花火が彩ります。

開催日:2025年9月23日(火・祝)18:30~
会場:観見橋下流思川河畔

企画展「地図と測量に見る戦災からの復興」 「つくばエクスプレス開業20年」

つくば市

本年は、太平洋戦争の終戦から80年、またつくばエクスプレス開業から20年を迎えます。企画展「地図と測量に見る戦災からの復興」では、戦災の概況、国土地理院の組織の変遷、戦災からの復興等について、「つくばエクスプレス開業20年」では、つくばエクスプレス沿線の駅周辺の変貌やつくばエクスプレスの概要・歩み等について紹介します。

期間:開催中~2025年9月21日(日)9:30~16:30(入場16:00まで)
会場:国土地理院 地図と測量の科学館特別展示室

第31回企画展 初鋤入れ300年 飯沼新田開発 ~美田三千町歩への道程~

古河市

かつて飯沼と呼ばれる長大な沼が、現在の古河市東部から常総市にかけて南北に縦断しており、漁獵や水草採取などの場として利用されていました。享保10年(1725年)、飯沼を新田として開発するため初鋤入れが行われました。それから300年の節目に、かつての飯沼と新田開発、その後の新田経営や維持・管理などにかかわる資料を展示・紹介します。

期間:開催中~2025年9月15日(月・祝)10:00~18:00
会場:古河市三和資料館展示室

水曜どうでしょうキャラバン2025

柏市

北海道テレビ放送の人気番組「水曜どうでしょう」の関連イベントで、ディレクター陣のトークショーや物産PR、催し物や出店、番組ファンのミュージシャンによるステージやグッズ販売など、見て、聞いて、楽しめる“参加型イベント”。千葉県での開催は2017年以来8年ぶりとなります。「水曜どうでしょう」のファンだけではなく、初めて訪れる人もその「祭り」を楽しめるイベントです!

開催日:2025年9月28日(日)10:00~16:00
会場:柏ふるさと公園